

けみかわの宮

第 106 号

平成29年1月1日発行

下總之國
神社三社 檢見川神社事務所

〒262-0023
千葉市花見川区検見川町1-1
TEL 043(273)0001代
FAX 043(273)0002

祥 輝



年頭の辞

宮司 宮間 尊士

平成二十九丁酉年（皇紀二六七七年）の年頭にあたり、謹んでお慶び申し上げますとともに、御皇室の弥栄を祈り奉り、氏子・崇敬者の皆様の平安とご多幸をお祈り申し上げます。

昨年も当神社では例祭をはじめ、諸祭典を皆様方のお力添えで滞りなく斎行することができました。ここに厚く御礼申し上げます。

昨年は大きな自然災害にまわされました。四月の熊本地震、台風十号による岩手県、北海道の水害など亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された多くの方々へ御見舞い申し上げます。近年、地震や異常気象による自然災害が頻発しております。今年こそは災害の少ない年でありますよう願うものであります。明るいニュースもありました。リオデジャネイロオリンピックの日本代表アスリートの皆さんの大活躍、プロ野球の大谷選手、テニスの錦織・ゴルフの松山選手などそれぞれ立派な成績を残されました。そして大隅教授のノーベル賞医学生理学賞の受賞、世界に冠たる日本の科学技術を証明してくれた素晴らしい業績です。

内外の政治・経済にもいろいろな出来事がありました。デフレ脱却を目指すアベノミクスも国民消費経済の好機が見えず所期の効果が上がっていません。世界情勢も大きく揺れ動いています。北朝鮮の暴挙、ロシア・中国の覇権主義、中東地区の紛争と揺れ動く欧州、英国EU離脱、そしてトランプショックなど様々な出来事で混沌も一段と深まってきています。殊に大方の予想を覆すトランプ政権の誕生は、米国が主導してきたグローバリゼーションの反転に拍車がかかってくるのではなど懸念されます。自國第一主義の潮流が大きな世界紛争に発展することがないよう願う次第です。

五月に伊勢志摩で先進国首脳会議が開催されました。各国首脳による伊勢神宮参拝は世界各国の人達に日本の歴史・文化に対する理解を深めてもらう意義あるよい機会でした。

昨年八月、八十三歳の陛下がビデオメッセージで、退位したい旨のお気持ちを述べられました。社会の高齢化に伴い、皇室が“途切れることなく安定的に続く”改革をご期待されたものです。古代からつづく天皇制は日本人の心の支えでもあります。皇室の伝統を現代に生かし、より社会に根ざしていくことに国民一人一人が思い致していかねばなりません。

末筆乍ら、本年も職員一同、神明奉仕に誠心誠意努めてまいる所存ですので、皆様方の篤き御崇敬の念を検見川大明神にお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

十一月二十三日(水)秋の大祭である新嘗祭と物品奉納奉告祭が斎行されました。

新嘗祭の“新”は新穀を“嘗”はご馳走を意味します。

毎年十一月二十三日に全国の神社で新嘗祭が執り行われます。新穀を得たことを神様に感謝する新嘗祭は、五穀豊穰を祈



宮司祝詞奏上

新嘗祭

願する二月十七日の祈年祭と相対する関係のお祭りです。この日は、宮中でも天皇が感謝をこめて新穀を神々に奉るとともに、御自らもお召し上がりになりました。

新嘗祭の起源は古く、古事記にも天照大御神が新嘗祭を行なったことが記されています。十一月二十三日は現在では“勤労感謝の日”として国民の祝日になっていますが、一説によると命の糧を神様から頂くための勤労を尊び感謝しあうことに由来しているともいわれています。



巫女舞「浦安の舞」

十一月二十三日(水)秋の大祭である新嘗祭と物品奉納奉告祭が斎行されました。

新嘗祭の“新”は新穀を“嘗”はご馳走を意味します。

毎年十一月二十三日に全国の神社で新嘗祭が執り行われます。新穀を得たことを神様に感謝する新嘗祭は、五穀豊穰を祈



各町会長による玉串奉奠

物品奉納奉告祭

当日は、神前に収穫されたばかりの新米をはじめ、海川山野の種々の神饌や氏子・崇敬者からの御奉納品をお供えし、責任役員はじめ多数の方々のご参列のもと、厳肅な雰囲気の中で祭典が斎行されました。

また、当日は新嘗祭に併せて物品奉納奉告祭も執り行われ、この一年間に当神社に貴重なる御奉納・御奉賛を賜りました方々の御芳名が宮司祝詞の中で奏上されました。

今回、感謝状をお受けになられた方々は下記の通りです。

祭典のあと、客殿において参列者皆様方による直会が行なわれました。



板橋様御奉納「菊花鉢立」

秋の大祭新嘗祭 物品奉納奉告祭 斎行

神樂を披露

検見川神社神楽囃子連



十二月六日火、アパホテル&リゾート東京ベイ幕張ホールにおいて、千葉幕張ロータリークラブ例会が開催されました。

今回の例会は平成八年より姉妹クラブとして提携している台湾盧洲ロータリークラブの皆さんをお招きしての例会でした。

ロータリークラブは世界の国々と各地域に広がる二百以上の団体により構成されており、様々な社会奉仕と国際親善を目的とした団体です。会員数は全世界で百二十万人といわれています。

千葉幕張ロータリークラブは昭和六十三年に結成され、会員数は現在三十七名、子供達の交通安全やスポーツ振興、留学生の支援等の活動を続けています。今回の例会では、台湾の皆さんに日本の伝統文化を知つてもらおうと検見川神社神楽囃子連が神楽“衢神六合堅目の舞”を披露しました。この企画は、千葉幕張ロータリークラブの会員

である当神社宮間宮司の計らいにより実現しました。

天狗やひよっとこが笛や太鼓の小気味よい音色にあわせて優雅に舞う姿に台湾の皆さんはじめ観客の方々は目を奪われていました。

衢神六合堅目の舞

通称「天狗の舞」と呼ばれています。最初に従者（ひよつと）が笛を持ち庭掃きの舞を行います。笛でこれからここを通る神々のために掃き清める舞です。終わると天狗が登場します。天孫、邇邇芸命が天降りの際に道案内された神様です。



披露された神楽

平成二十九年 検見川神社年中行事

一月	一日	八方除祭	七月	十七日	海上安全祈願祭
	全	元旦祈願祭		二十五日	兼務社愛宕神社例祭
	全	歳旦祭		三十一日	例祭前日祭
	三日	元始祭		一日	例祭
	七日	勧学祈願祭（学業成就）		三日	神幸祭
	九日	成人祭		十五日	末社三峯神社例祭
	十四日	どんど祭・御備社祭		九日	（旧犬飼神社）
	十五日	御備社祭		十八日	長寿祈願祭
	三日	節分祭		十九日	秋季講社祭
	十一日	紀元祭		八日	未社鷺神社例祭前日祭
	十二日	初午祭		九日	未社鷺神社例祭
	十七日	祈年祭		九日	健康祈願祭
	二十五日	末社寄宮社例祭		十四日	稻荷神社例祭前日祭
	三日	桃花祭		十五日	稻荷神社例祭
	十四日	熊野神社例祭前日祭		十七日	神嘗奉祝祭
	十五日	熊野神社例祭		二十日	兼務社甲大神例祭
	九日	末社古峯神社例祭		二十一日	明治祭並
	十九日	末社三峯神社例祭		三十日	学業成就祈願祭
	二十九日	昭和祭		十五日	七五三祭
	四日	端午祭		二十三日	新嘗祭
	全	春季講社祭		二十一月	十六日 煙拵祭
	十九日	末社金刀比羅神社例祭		二十二月	天長祭
	二十九日	末社市神之社例祭		二十三日	
	吉日	植樹祭		三十日	師走大祓式並大祓祈願祭
	九日	末社浅間神社例祭		全	除夜祭
	三十日	夏越大祓式（茅の輪くぐり）並大祓祈願祭		毎月二十九日	交通安全祈願祭
	毎月一・十五日	月次祭			

一月・二月祭典行事

毎月一日、十五日	交通安全祈願祭	二月二十五日	初紀節 分祭	二月二十一日	未社年祭	二月二十二日	祈年祭	二月二十三日	宮社例祭	二月二十九日	交通安全部次祭
毎月二十九日	交通安全祈願祭	二月二十九日	八方除祭	二月三十日	元旦祈願祭	二月三日	元始祭	二月四日	勤学祈願祭	二月七日	成人祭
毎月二十九日	交通安全祈願祭	二月二十九日	・歳旦祭	二月三十日	・歳旦祭	二月三日	・学業成就	二月四日	・御備社祭	二月七日	・どんと祭
毎月二十九日	交通安全祈願祭	二月二十九日	御備社祭	二月三十日	御備社祭	二月三日	御備社祭	二月四日	御備社祭	二月七日	御備社祭

八方除ご祈願

当神社は、八方除總鎮護の神社として房総をはじめ広く全国の方々から信仰されています。

☆八方除

八方除とは、地相・家相・方位・日柄・歳まわり・風水等に基づく森羅万象全ての災禍・災厄を取り除くことであり、人々を清々しい気の流れの中に立還らせ運勢をよくする御祈願です。

また、身体健全・家内安全・安産成就等様々なお願い事が成就しますようにとの御祈願も八方除と併せて行われます。

☆方除・方災除

八方除につけ加える特定した御祈願として方除と方災除があります。

方除＝物事を行うにあたり、事前に災がないようにと御祈願することです（例えば、転居先で災がありませんように等）方災除＝過去の災、特に方位に於ける災禍・災厄を取り除く御祈願です（例えば、過去に

転居したが、そのとき方位をおかしてしまった等）

☆御祈願

御祈願はお一人ずつの御祈願として行われます。

受付で御祈願を申し込まれた方は、拝殿に昇殿し御祈願を受けます。修祓のあと、神職により、お一人ごとに住所・お名前・御祈願内容が祝詞の中で奏上されます。祝詞奏上のあと、御祈願者は神前に進み、玉串をささげ、御神札が授与されます。

☆年に三回四ヶ月に一度

八方除の御祈願は、年に三回四ヶ月に一度御祈願されることにより、過去からの災いを取り除き、今後の運勢を吉兆の方向へと導き守護されます。年に三四ヶ月に一度の意味は、人間の運勢には波があるので、それがあわせて御祈願されるとよいでしょうということです。

国民の祝日とその意味

	元 日	成 人 の 日	建 国 記 念 の 日	春 分 の 日	昭 和 の 日	憲 法 記 念 の 日
天皇御誕生日	年のはじめを祝う	おとなになつたことを自覚し、みずから生き抜くとする青年を祝い上げます	建国をしのび、国を愛する心をやしなう	三月二十日 自然をたたえ、生物をいつくしむ	日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する	日本国憲法の施行を記念し、国の成長を期する
勤労感謝の日	自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ	こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する	自然に親しむとともにその恩恵に感謝し、豊かな心をはぐくむ	多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う	海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う	多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う
天皇の御誕生日を祝う	おとなの誕生日を祝う	みどりの日	みどりの日	山の日	海の日	山の日

六白金星	七赤金星	八白土星	九紫火星	九星
数え 96歳 1922年 大正11年生	数え 97歳 1921年 大正10年生	数え 98歳 1920年 大正9年生	数え 99歳 1919年 大正8年生	平成二十九年各人數え年・生年・干支・九星卓見表
数え 87歳 1931年 昭和6年生	数え 88歳 1930年 昭和5年生	数え 89歳 1929年 昭和4年生	数え 90歳 1928年 昭和3年生	
数え 78歳 1940年 昭和15年生	数え 79歳 1939年 昭和14年生	数え 80歳 1938年 昭和13年生	数え 81歳 1937年 昭和12年生	
数え 69歳 1949年 昭和24年生	数え 70歳 1948年 昭和23年生	数え 71歳 1947年 昭和22年生	数え 72歳 1946年 昭和21年生	
数え 60歳 1958年 昭和33年生	数え 61歳 1957年 昭和32年生	数え 62歳 1956年 昭和31年生	数え 63歳 1955年 昭和30年生	
数え 51歳 1967年 昭和42年生	数え 52歳 1966年 昭和41年生	数え 53歳 1965年 昭和40年生	数え 54歳 1964年 昭和39年生	
数え 42歳 1976年 昭和51年生	数え 43歳 1975年 昭和50年生	数え 44歳 1974年 昭和49年生	数え 45歳 1973年 昭和48年生	
数え 33歳 1985年 昭和60年生	数え 34歳 1984年 昭和59年生	数え 35歳 1983年 昭和58年生	数え 36歳 1982年 昭和57年生	
数え 24歳 1994年 平成6年生	数え 25歳 1993年 平成5年生	数え 26歳 1992年 平成4年生	数え 27歳 1991年 平成3年生	
数え 15歳 2003年 平成15年生	数え 16歳 2002年 平成14年生	数え 17歳 2001年 平成13年生	数え 18歳 2000年 平成12年生	
数え 6歳 2012年 平成24年生	数え 7歳 2011年 平成23年生	数え 8歳 2010年 平成22年生	数え 9歳 2009年 平成21年生	
弱い運気なので、よく考えて歩むようになります。地道な努力が功を奏し、良いチャンスに恵まれるので、更なる努力を続けて掴んで下さい。但し大きく掴もうとせず小さくとも確実に。	過去の努力が良い結果となつて出そうですね。地道な努力が功を奏し、良いチャンスに恵まれるので、更なる努力を続けて掴んで下さい。但し大きく掴もうとせず小さくとも確実に。	順調な流れに乗つて物事が良い方向に進むでしよう。かなり余力が出来るため、前進したくなりますが、いまは足元が弱い暗示があるので、内容の充実・基礎固めに努めて下さい。	不安定な運氣でまとまりの良くない月になります。心に落ち着きがなくあれやこれやと色々な事に手を出し過ぎると総て中途半端になりやすいので注意を。今は現状維持が良策。	一月の運勢
心掛けて。何も考えずに強引に押し通すと大きいなる悔いを残す。今は前進よりも一步二歩さがつて足元の強化に努めて。退守する勇気も大切。	出る杭はどうしても打たれやすいので注意を。新規事や拡張等に急いで手を出すと、取り逃がすばかりではなく取り返しつかないことになる恐れがあるから、調査計画等は入念に。	事前向きになりそうな月です。但し、掛け声ばかりで中身が伴わないと、周りの人には笑われるので気をつけて。能力の範囲内の行動が良策。	日を追つて運気上昇していくでしよう。かなり余裕があるので、行動する時はしっかりと計画を立て良く煮詰めてから実行するように。目先の欲に迷わず、丁寧な歩みを心掛けて。	二月の運勢

一月・二月の運勢

[注意]

各人の満年齢は、左記の数え年から、各人本人の誕生日前に2歳、誕生日以後には1歳を差し引けば得られる。アラビア数字は、ことしの誕生日以後の満年齢である。子・辰・申の年は閏年となる。

一 白 水 星	二 黒 土 星	三 碧 木 星	四 緑 木 星	五 黃 土 星
数え 91歳 1927年 昭和2年生	数え 92歳 1926年 昭和元年生	数え 93歳 1925年 大正14年生	数え 94歳 1924年 大正13年生	数え 95歳 1923年 大正12年生
数え 82歳 1936年 昭和11年生	数え 83歳 1935年 昭和10年生	数え 84歳 1934年 昭和9年生	数え 85歳 1933年 昭和8年生	数え 86歳 1932年 昭和7年生
数え 73歳 1945年 昭和20年生	数え 74歳 1944年 昭和19年生	数え 75歳 1943年 昭和18年生	数え 76歳 1942年 昭和17年生	数え 77歳 1941年 昭和16年生
数え 64歳 1954年 昭和29年生	数え 65歳 1953年 昭和28年生	数え 66歳 1952年 昭和27年生	数え 67歳 1951年 昭和26年生	数え 68歳 1950年 昭和25年生
数え 55歳 1963年 昭和38年生	数え 56歳 1962年 昭和37年生	数え 57歳 1961年 昭和36年生	数え 58歳 1960年 昭和35年生	数え 59歳 1959年 昭和34年生
数え 46歳 1972年 昭和47年生	数え 47歳 1971年 昭和46年生	数え 48歳 1970年 昭和45年生	数え 49歳 1969年 昭和44年生	数え 50歳 1968年 昭和43年生
数え 37歳 1981年 昭和56年生	数え 38歳 1980年 昭和55年生	数え 39歳 1979年 昭和54年生	数え 40歳 1978年 昭和53年生	数え 41歳 1977年 昭和52年生
数え 28歳 1990年 平成2年生	数え 29歳 1989年 平成元年生	数え 30歳 1988年 昭和63年生	数え 31歳 1987年 昭和62年生	数え 32歳 1986年 昭和61年生
数え 19歳 1999年 平成11年生	数え 20歳 1998年 平成10年生	数え 21歳 1997年 平成9年生	数え 22歳 1996年 平成8年生	数え 23歳 1995年 平成7年生
数え 10歳 2008年 平成20年生	数え 11歳 2007年 平成19年生	数え 12歳 2006年 平成18年生	数え 13歳 2005年 平成17年生	数え 14歳 2004年 平成16年生
数え 1歳 2017年 平成29年生	数え 2歳 2016年 平成28年生	数え 3歳 2015年 平成27年生	数え 4歳 2014年 平成26年生	数え 5歳 2013年 平成25年生
環境が整つてきて物事が良い流れになります。経渓的におちつきます。今は此の良い運気を上手に用いて基礎固めをして次の機会に備えて。	日々の生活に余裕ができてきて、落ちついた雰囲気の正月となりそうです。めったにない良い運気なので上手に用いて下さい。たまには趣味等でのんびり過ごして英気を養うように。	何か流れが変わる暗示があるので、アンテナをしっかりと立てて周囲の観察を。どんな小さな変化でも見逃さないように心掛け下さい。油断すると良くない方向に流れる恐れあります。	明るい運気ですがあまり見通しがよくないので、余力があつても無駄に使わず、後日の為に蓄えて下さい。事業等も表面のみで、掛け声ばかりで終わる恐れがあるから気をつけて。	次から次へと思いもよらない問題が発生して悩みますが決して即断即決せずよく考えて下さい。時間がないとか、面倒だからといって、すぐ答えを出すと、後日のからと云って痛手となる。
堅実に積み上げてきた積善が実を結び、良い結果となつて表れそうです。但し、ここで有頂天にならず、まだまだ本格的な運気の手前と思って、更なる努力を続けて。	順調な運気ですが軌道から外れる恐れがあるので無理な運転はせず安全運転を心掛けて下さい。もし何か見つかったら直に軌道の修正を。丁寧な歩みが大切で急進・猛進はケガの元。	天空に輝く太陽が、大地を隅々まで照らす運気で、明るく期待のもてる月となりそうです。此の良い運気を用いて、将来の基礎固めをしっかりと。何事も焦らず時間をかけて丁寧に。	何をやってもうまいかずイライラしますが、冷静を保つように。今は泥沼状態のところにいるので短気を起こさず、忍耐強く歩んで。焦れば焦るほど、深みにはまりやすくなる。	足元が少し弱いのでゆっくり歩むように心掛け下さい。慌てると空回りしやすく深みにはまる恐れがあるので注意を。何事も場当たり的ではなく、きちんと計画をたてるようになります。

どんと祭・節分祭のご案内

一月、二月は多くの祭典行事があります。

元旦午前零時の八方除祭、元旦には恒例のどんと祭が、そして二月三日(金)には節分祭が斎行されます。

◆どんと祭

一月十四日(土) 午後五時~

どんと祭は古札や正月飾りを燃やす行事で、さいとやき・左義長祭ともいわれ、昔から親しまれているお祭りです。

当日は、拝殿での祭典の後、午後五時より大前の仮設炉に火がつけられ、夜おそくまで燃えづけます。燃える火にあたると若返るとか、残りの灰を家の廻りにまくと虫除けになるとかいろいろな言い伝えがあります。

◆節分祭

二月三日(金) 午後五時~

立春の前日行われるお祭りです。立春は旧正月節で、節分祭は悪鬼や厄を取り除いて新年を迎える追儺の行事です。当日は

祭典のあと境内大前にて福豆撒きが行われます。福豆の包の中にある番号くじの抽選によりいろいろな景品が授与されます。是非お誘い合わせの上、ご来社下さい。



節分祭の様子

節分祭—年男・年女募集—

恒例により節分祭奉仕者として左記の要領にて募集致しますので、祭典にご参列頂き福豆撒きにご奉仕下さいますようご案内申し上げます。☆なお、ご奉仕の方々には祭典後の直会にもご出席頂きます。

一、日 時 二月三日(金) 午後五時
一、初穂料 お一人様金若干萬円
一、お申込み 一月三十一日(火)まで
一、受付窓口 神社社務所
☎〇四三（二七三）〇〇〇一

初詣授与品紹介

